

種名 イソシギ



背側は灰色で、腹は白色をしています。河原や河口などでよく見られ、川岸や湖岸に簡単な巣をつくり、繁殖します。昆虫やゴカイ、カニを餌としています。姫川の全地域で、見られます。なかでも、砂や小石の多い水のまわりと、丈の低い木がまばらに生えている草地でよく見られます。

種名 セグロセキレイ (オッポピン、シリタタキ、イシタタキ)



背側が黒色、のどや腹側は白色をした、長い尾を持つスマートな鳥です。よく、尾を上下にふっています。日本にしかない種類で、水辺のまわりでよく見られます。昆虫を食べます。姫川の全地域でふつうに見られ、河原の、石がゴロゴロしているところに見えます。河原の石の間や人家のまわりで繁殖します。

種名 オオジシギ



くちばしがまっすぐで、体全体は白、茶、黒色のまだら模様をしています。夏に渡ってきて、各地の水田や湿ったところで、昆虫やミミズ類を食べます。変わった声で鳴いたり、羽音をたてたりします。あまり見られないめずらしい鳥ですが、渡りの時期(春や秋)に、見ることができます。姫川を、渡りのときの中継地として、休む場所や餌を採る場所として利用しています。

種名 ツリスガラ



尾が短い小鳥です。雄の頭は灰色で、顔には白と黒の模様があり、背側は赤っぽい褐色をしています。冬に、おもに西日本に飛んで来て、小さな群れをつくり、ヨシ原にすんでいます。昆虫や種子を食べます。虫川が合流するあたりで、見られました。本州では、冬に不定期におとずれる鳥で、新潟県では、河川水辺の国勢調査(1994年)で、初めて記録されました。

種名 カモメ類 (カゴメ)



ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、シロカモメ、カモメ、ウミネコ(ハマネコ、ネコドリ)がすんでいます。冬に、河口のあたりにむれて、魚や動物の死体を食べます。河口部を中心に、虫川のあたりまで見られます。セグロカモメ、ウミネコは数も多く、よく目立ちますが、そのほかのカモメは、あまり多くありません。

種名 ホオジロ



スズメぐらいの大きさで、ほおが白色をしています。体の色の赤みが強い鳥です。草原や畑地、河原などにみられ、草の実や昆虫を食べます。鳴き声は、「いっぴつけいじょうつがまつりそうろう(一筆啓上仕り候)」や、「げんべいつつじしろつつじ(源平つつじ白つつじ)」と聞こえるといわれます。姫川の全地域で、ふつうに見られますが、河口のところでは、あまり見られません。